

【都筑区】令和6年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和6年2月5日（月）10：00～11：30
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】磯部尚哉 議員</p> <p>【議員：4名】長谷川琢磨 議員、白井亮次 議員、深作祐衣 議員、市来栄美子 議員、</p> <p>【都筑区：31名】佐々田賢一 区長、落合明正 副区長、深澤義一 災害対策担当部長（都筑消防署長）、林千賀 福祉保健センター長、浦崎真仁 福祉保健センター担当部長、小島淳 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 予算案について</p> <p>2 報告案件</p> <p>（1）都筑区制30周年の取組について</p> <p>（2）GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の機運醸成の取組について</p>
発言の旨	<p>1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 予算案について</p> <p>【区民文化センター周辺の交通渋滞について】</p> <p>白井議員：区民文化センター周辺の交通渋滞についてどう考えているか。局も巻き込んで取り組む課題ではないか。</p> <p>佐々田区長：渋滞は長年慢性的に起きていて、区としても深刻な問題と捉えている。局とも連携して考えていきたい。</p> <p>【高齢者の移動手段の支援について】</p> <p>白井議員：コロナがあけて高齢者が集まる機会が増えてきているが、そこにくままでの移動手段がない高齢者が多く、民生委員が自らの車で連れていくこともある。こうしたところの支援についてどう考えるか。</p> <p>室山福祉保健課長：地区によっては、移送サービスについてタクシー会社と検討しているところや、相乗りの実証実験をしているところもある。そういった展開を見ながら、地域に応じた支援を検討したい。</p> <p>【スクールゾーン対策協議会について】</p> <p>白井議員：スクールゾーン対策協議会はPTAが務めていることが多いが、P</p>

TAの活動自体が縮小傾向にある学校もあると聞いている。スクールゾーン対策協議会は重要な役割を果たしていると考えますが、そうした状況に対してどのように対応していくか。

倉田地域振興課長：都筑区の学校では、スクールゾーン対策協議会の活動が影響を受けているという状況は聞いていないが、引き続き学校やPTA、地域の皆様や区役所内でも情報共有しながら注視していく。

【ゆるスポーツについて】

白井議員：青少年指導員としてゆるスポーツイベントに参加したが、非常に素晴らしい企画だった。ぜひ拡大してほしい。

【都筑区制 30 周年の啓発グッズについて】

長谷川議員：都筑区制 30 周年の啓発グッズはどのようなものをどのように配布するのか。効果的に啓発できるよう取り組んでほしい。

橋本区政推進課長：エコバッグや 30 周年ロゴマークシールなどをイベントや学校などで配布する。チラシにQRコードを掲載しており特設サイトにもアクセスできるようになっている。

【学齢期の子どもや保護者への支援について】

長谷川議員：乳幼児期の子どもは区で対応し、学齢期は局で対応するという認識でよいか。

清こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：区は乳幼児期の子どもとその養育者の支援がメインとなるが、学齢期に入ってからさまざまな悩みを抱える親子もいる。こどもの権利擁護担当も設置している。配慮の必要な子どもや悩みを抱える子どもなどにも区で寄り添って対応している。

【GREEN×EXPO 2027 の機運醸成について】

長谷川議員：機運の醸成とあるが、個人のマインドを変化させるのはなかなか効果が出ずに難しい。どのように行うか。

橋本区政推進課長：寄せ植えやガーデニング講座も実施している。引き続きご家庭の中で花や緑を楽しんでいただけるようなものも創出しながら機運醸成に努めていきたい。

【両親教室について】

深作議員：両親教室は区によって特色があると聞いているが、都筑区ではどのような内容で開催しているのか。

上田こども家庭支援課長：現在、平日は区役所、休日はポポラ及びポポラサテライトで開催しており、回数は少ないがモデル事業として地域ケアプラザでも実施している。地域ケアプラザについては、6年度からは区づくり推進費で実施する。生活のスタイルに合わせて参加していただけるよう工夫している。

【地産地消について】

深作議員：都筑野菜の地産地消を推進するために、キッチンカーを利用した取組をすることはできないか。

橋本区政推進課長：地産地消を推進する取組の一つとして、都筑野菜を使用している飲食店を巡るグルメスタンプラリーを実施している。キッチンカーへの都筑野菜の利用なども含めて、今後更に検討していく。

【自治会町内会の地域運営応援事業について】

市来議員：予算の減額理由はなにか。

倉田地域振興課長：今年度自主企画事業で実施している「都筑スタイル」という事業が市民局予算になったことによる。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業について】

市来議員：予算の減額理由はなにか。

佐藤総務課長：実績額に合わせて予算額を精査したことや、避難所のペトスターターキットの配備が5年度に完了したことによる。

【防犯灯と防犯カメラについて】

市来議員：都筑区には暗い道も多いが、区として防犯灯や防犯カメラは今後増やしていくのか。

倉田地域振興課長：どちらも市民局予算なので区で増やしていくのは難しい。防犯灯は自治会町内会からの申請に基づき設置しているが、予算が厳しいこともあり、数を増やすというよりもより効果的な場所に設置していきたい。防犯カメラについては、防犯灯よりも設置数は少ないが、比較のご要望にお応えできている。引き続き、地域の要望

を的確に局に上げていく。

【樹木の剪定について】

市来議員：樹木の剪定はどのように行っているのか。

小島土木事務所長：樹木の種類にもよるが、複数年に1度剪定を行っている。

区庁舎前のメタセコイヤの剪定も行ったばかり。緑道も30年近く経っているので、大きな木を剪定する再整備を実施している。

【東山田駅周辺の開発について】

市来議員：東山田駅の周辺にはスーパーや郵便局がないなどの住民の声を聞くが、区としてどのように考えているか。

橋本区政推進課長：区の都市計画マスタープランの中で、東山田駅周辺を「まちづくり重点検討地区」と位置付けており、十分な都市機能の集積がなかなか図られていない場所という認識をしている。今年度は地域住民と意見交換会も何度か実施しており、今後も引き続き局と連携しながら調整していく。

【国際プールまでのアクセスについて】

市来議員：駅から国際プールに行くまでには長い階段をのぼる必要があり、アクセスが困難。区としてどのように考えているか。

橋本区政推進課長：駅からのアクセスについては様々なご意見をいただいている。国際プールの改修を進めているところなので、そういったところも関係部署と連携しながら併せて検討していきたい。

【災害時のペット同行避難について】

磯部議員：能登半島地震でもペットの同行避難がスムーズにいかない地域があるなど取りざたされており、こういったことを機に普及・啓発を進めるべきと考えるが、都筑区で来年度なにか取り組むことはあるか。

岸生活衛生課長：横浜市では、地域防災拠点に一時飼育場所を設けている。今までは講演会などで周知していたが参加できない方もいるので、ショート動画を作成し、災害時どういった避難生活になるか案内していきたい。また、今年度配備したペット避難所スターターキットを活用した受け入れ体制について引き続き啓発していく。

	<p>【動物愛護フェスタについて】</p> <p>磯部議員：今年度は動物愛護フェスタが都筑区で開催されたが、来年度はどのように開催するか具体的になにか決まっていることがあれば教えてほしい。</p> <p>岸生活衛生課長：動物愛護フェスタは医療局や獣医師会などが実行委員会形式で実施しており、夏ごろから検討を始める。</p> <p>【生活交通バス路線について】</p> <p>磯部議員：都筑区にもいくつか生活交通バス路線があるが、利用実績がのびずに廃止されるものもある。なにか周知の方法を考えているか。</p> <p>橋本区政推進課長：今年も広報よこはまなどで周知はしているが、皆様によりバスに乗っていただけるよう様々な媒体で引き続き周知していく。</p> <p>2 報告案件</p> <p>【（2）GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の機運醸成の取組について】</p> <p>白井議員：国際園芸博覧会協会がわかりやすい動画を作成しているが、区で使用することはできないのか。</p> <p>橋本区政推進課長：すでに1階のデジタルサイネージで放映している。</p>
備 考	